

令和7年度

水窪小学校便り

第4号 令和7年6月3日



いちいがし

【学校教育目標】 自分らしさが輝く児童の育成

【水窪中学校区でめざす子どもの姿】 将来どこにあっても、自分の力でたくましく しなやかに生き抜く子供

【水窪中学校区 キャリア教育】 み…みんなと活動する子 さ…最後まで追究する子 く…くじげず、挑戦する子 ぼ…ぼく、私も自分を磨く子

水窪幼小中体育祭

5月24日（土）に水窪幼小中体育祭が行われました。当日は、保護者や地域の方々が見守る中、子供たちは精一杯、競技や演技に取り組みました。

水窪幼小中文化祭もそうですが、幼稚園、小学生、中学生とそれぞれの成長過程が見える体育祭となりました。

幼稚園は小学生と一緒に楽しみ、小学生は中学生の演技に憧れ、「自分もこうなりたいな。」といった気持ちが芽生えたのではと思います。

徒競走 全力で走り抜けました！！



ダンシング玉入れ みんなで「踊れダンゴムシ！！」

借り人競争
校長先生を連れてきたよ。



綱引き 絶対に負けないぞ！

地域の皆さんと一緒に水窪音頭



輝く笑顔で
最後まで
～勝利に向かって
突っ走れ～

応援合戦パフォーマンス みんなで考えたダンス、大成功

水中ソーラン キレのある踊りがカッコイイ！！



幼小中、みんな笑顔が輝いているね



保護者、地域の方々につきましては、当日子供たちへの応援はもちろんのこと、一緒に水窪音頭に御参加いただき、地域全体で体育祭を盛り上げていただきました。また、片付けもたくさんの方々にお手伝いいただきました。ありがとうございました。

水窪小中コミュニティ・スクール運営合同協議会

5月16日（木）に水窪小中コミュニティ・スクール運営合同協議会が行われました。

第1回の今回は中学校の授業参観の後、小中学校の校長より学校経営基本方針、いじめ防止基本方針の説明があり、それぞれ協議会にて承認されました。

子供の人数が減少している現状ではありますが、地域と学校が一緒になって子供たちを育てていく必要があると再確認しました。



6月 朝礼 校長先生のお話

今日お話ししたいのは、来週の「命の週間」についてです。10日はいのちの集会、12日は「命について考える日」です。この週は浜松市全体が同じように命について考える活動を行います。なぜこの日を「命について考える日」としたのかは、今から13年前の平成24年6月12日に浜松市内の中学校で、男子中学生が自ら命を絶ってしまうということがあったからです。

昨日までそこにいた子がなくなる辛さは、想像を絶します。おうちの方だけでなく、その子を知っている周りの人たち全員が本当に悲しい思いをします。たとえ子供でも、病気で亡くなる子もいるし、交通事故で突然亡くなってしまいう子もいます。自分ではどうしようもない理由の場合もありますが、自分から生きることをやめてしまうのは本当に辛いことです。その理由がいじめだったとしたら、いじめが原因で生きることをやめてしまう前に、何とか助けてあげたい、止めてあげたいと思いませんか。

【ピンクシャツデー】の話（略）

この出来事をきっかけに世界中で「いじめをなくそう」という運動が広まりました。毎年2月の最後の水曜日を「ピンクシャツデー」としていじめ撲滅運動が広がっています。

いじめはもちろんいじめの側が悪いのですが、いじめで問題なのは、自分は関係ないと考える人、周りで見て見ぬふりをしている集団です。誰も助けてくれず「独りぼっち」が一番辛いです。先ほどの話も「いじめは許さない」と考える仲間がいることが分かったことで救われました。

いじめを防ぐために大事なことは何でしょうか。そもそも「いじめはしない」、困ったときには「相談する」日ごろから「相談できる仲間を作る」「困っている人がいたら助ける」などあると思いますが、またクラスで考えてみてください。

では、一番難しいことは何でしょうか。いじめに限らずどんなこともそうですが、実は「思ったことを行動に移すこと」が難しいのではないですか。思っているけれど、行動できない。そこを、体育祭でチームのために行動したように、自分のためにも、人のためにもほんの少し勇気を出して、行動に移してみませんか。

【6月の行事予定】

HPでは割愛させていただきます